



No.881 令和4年(2022)8月29日(月) 2022-34号
発行責任者:院長 澤田勝寛
isonare@ka2.so-net.ne.jp

◆コロナ関係

日本の感染者総数は1850万人、あと10日もすると2000万人となりそうで、そうすると実に6人に1人が感染したことになります。

前回お知らせしたように陽性者の受け入れ先が見つからないことが多くなってきたため、8月12日から、当院も遅ればせながらコロナ病棟を開設しました。

院内発生、グループ病院や施設での発生、そして保健所経由で陽性者を受け入れています。

2週間あまりで27人の陽性者を受け入れました。ほとんどが高齢者で、基礎疾患のある方は重症化しやすいということが分かりました。

一般的にコロナの病状は無症状もしくは風邪程度から、重症化まで多岐にわたります。比較的若い人でも、倦怠感が長引いたり咳が続くこともあります。

慈恵会グループに2つの訪問看護ステーションがあります。訪問先の住居環境は様々です。換気の悪い狭い部屋で陽性者の看護をすることもあります。

それでも、訪問看護師は訪問先では感染していません。徹底した感染防御と常に換気に注意を払い、長時間の接触を避ける工夫をしていることが、効を奏しているのではないかとのことです。



競技場の片隅でしかプレーができないというのなら、そこでスターになるのだ

コリンパウエル

コリンパウエルはジャマイカ系移民の子としてニューヨークのハーレムに生まれ、アメリカ軍人の最高位である統合参謀本部長を務めた。

人格と見識は高く、オバマ大統領に取って代わっていたかもしれないが、出馬をせずホワイトハウスへの道を選ばなかった。

その理由が上記の言葉として、彼の自伝にのっている。

◆私の本棚

ステージ4の緩和ケア医が実践する
がんを悪化させない試み

山崎章郎 新潮選書

著者は在宅医療における草分け的存在。「病院で死ぬということ」という本を以前に読んで、感銘を受けたことを覚えている。

その在宅緩和ケア医がステージ4の大腸がんとなり、手術のあと化学療法を受けていたが、その副作用に苦しんだ結果、化学療法を中断し徹底した食事療法を始めた。

そのメニューと効果と経緯が詳細に書かれている。民間療法としてあまり信用されていない食事療法が効果があることが分かる。

徹底した糖質制限、ケトン食、ビタミンD摂取、クエン酸摂取など、誰でもその気なれば、できる治療法であり、がんを悪化させず共存するという考え方は、一考に値する。



実践健康法 最終回

10回にわたって私が実践してる健康法を書きました。色々なご意見をいただき有難うございました。人はそれぞれ、得手不得手があり、ファスティングなどは絶対無理といわれる方も多数おられます。

また、体を鍛えると病気になってもぽっくり死ねない。むしろ不健康な生活で動脈硬化が進んだほうが、ぽっくり死ねるとい話もあります。

4人に1人が認知症の時代です。長生きはべつとして、生きている限りは健康でいたいものです。自分の健康は自分で守るしかありません。そのためにも普段から健康に気を付けることが大切であると思っています。5年後、10年後も健やかな日々がおくれますように、お互い頑張りましょう。

◆今週の院長予定

8月29日	月	8:00運営会議、14:00エリーネス取締役会	神戸で一番 親切で 丁寧で 優しい医療を	
8月30日	火	9:00外来、14:00手術		
8月31日	水	神戸にいます		
9月1日	木	9:00来客、15:00エリーネス須磨訪問診療		
9月2日	金	9:00外来、14:00手術、16:00コロナ会議		
9月3日	土	9:45新須磨クリニック健診、14:00介護の家訪問診療		